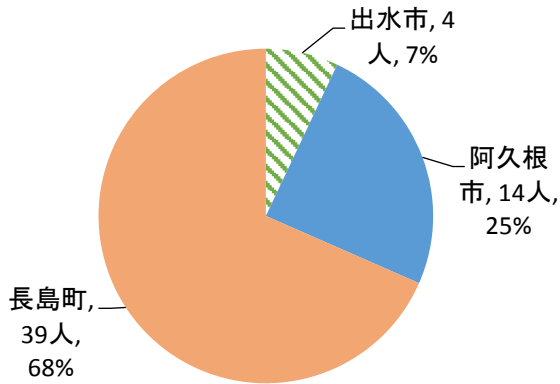


平成29年度 出水地区在宅医療・介護連携推進に係る多職種交流研修会

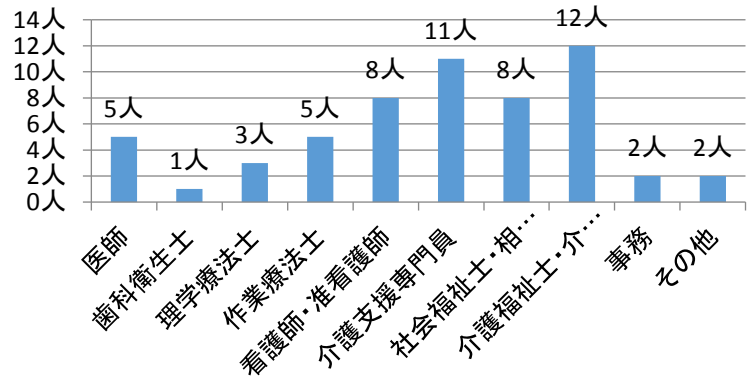
11月8日(水) 長島町開発総合センター

参加人数 79名(研修広報班17名含む) アンケート回答 57名 回答率 91.9%

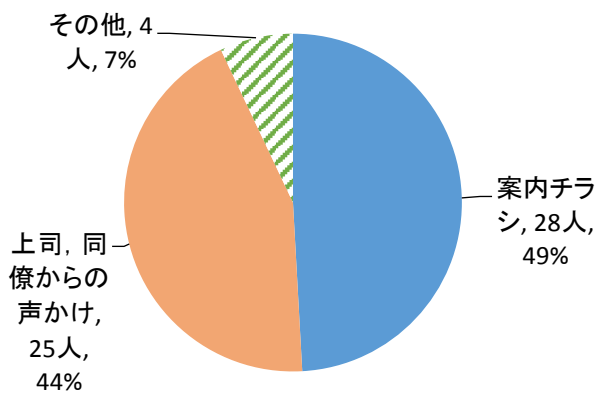
1-① 勤務地



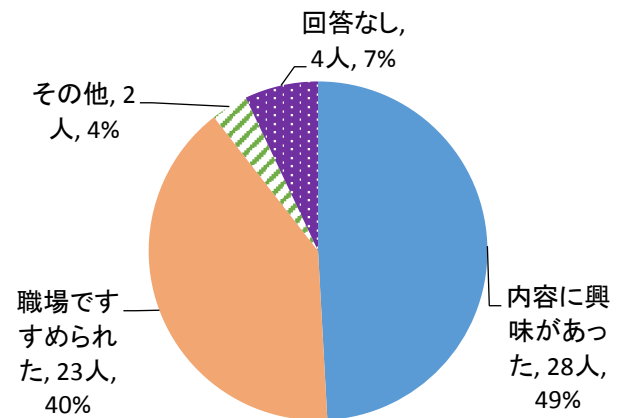
1-② 職種 n57



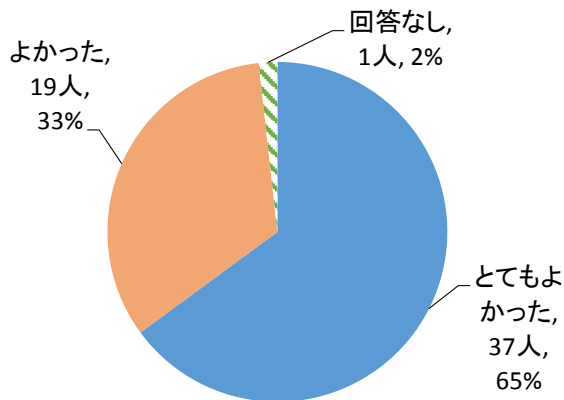
2-① 知ったきっかけ



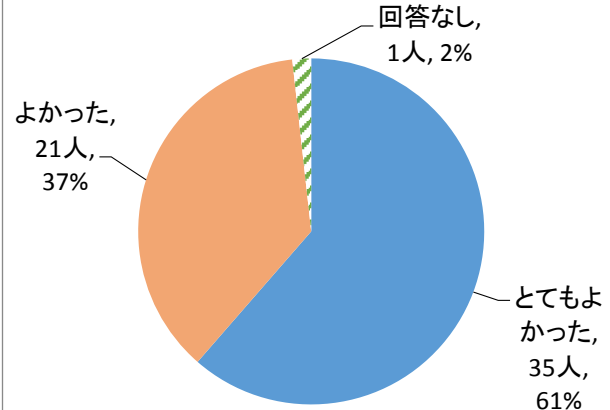
2-② 参加動機



3-① グループワーク



3-② ワールドカフェ



3-③ 研修会についての意見

- ・利用者の支援のあり方を改めて考える事が出来てよかった。
- ・初めての参加でしたが、地元での開催だったので参加しやすかった。
- ・多職種の方々といろんな視点で意見を聞く事ができ勉強になりよかった。(他9件)
- ・医師や理学療法士、介護士など自分とは違う視点から問題を考えることができた。
- ・今回のような研修内容での進行はおもしろく、意見も色々出てよかった。
- ・グループワークで楽しく互いの意見交換ができたのでとても良い機会だった。
- ・グループワークの時間が非常に短く感じるくらい活発に意見交換できた。Drと顔見知りになれて良かった。
- ・また参加したいと思った。
- ・事業所でもこのような話し合いができればいいと思った。
- ・結果が出た症例を選んだ方が検討がしやすい。
- ・もう少し個人の問題点を明確にすること。
- ・時間が足りないと感じた。(他1件)
- ・グループワークの時間がもう少しあったらもっと意見が出た。全員の発表が出来なかった。
- ・自分に置き換えたとき難しい点が多く、研修に対しても出す答えがなかなか難しいと感じた。
- ・開始時間がもう少し早い方が良い。

4. 在宅医療・介護連携推進のために取り組んでいることや日頃感じている課題等

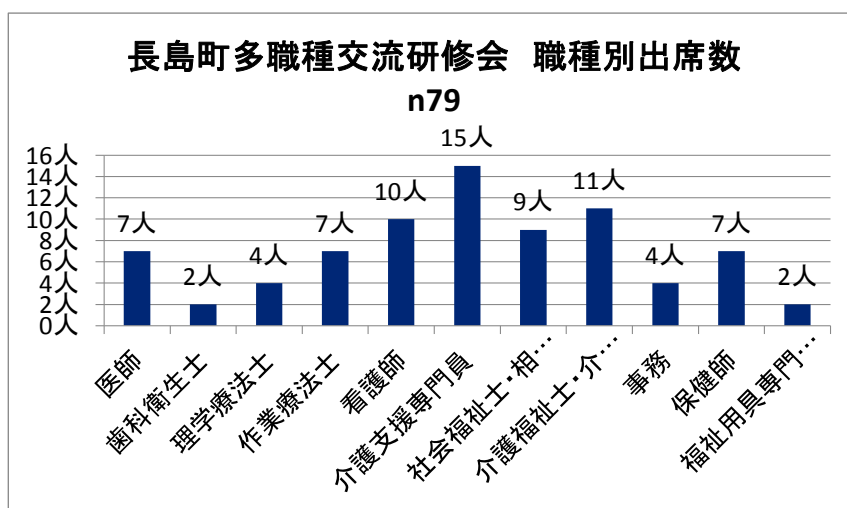
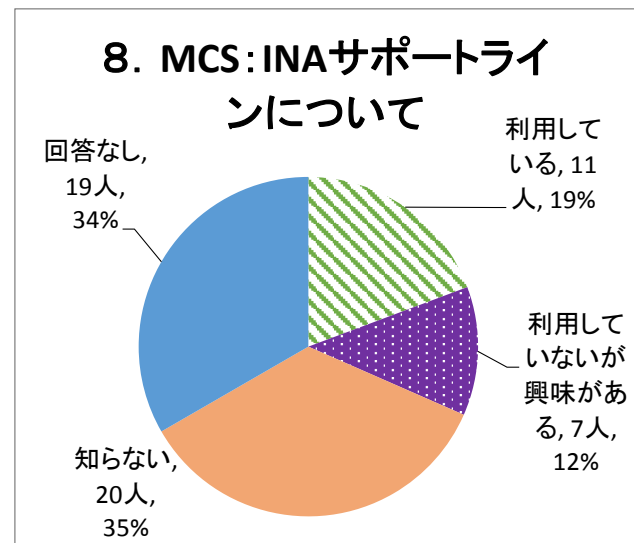
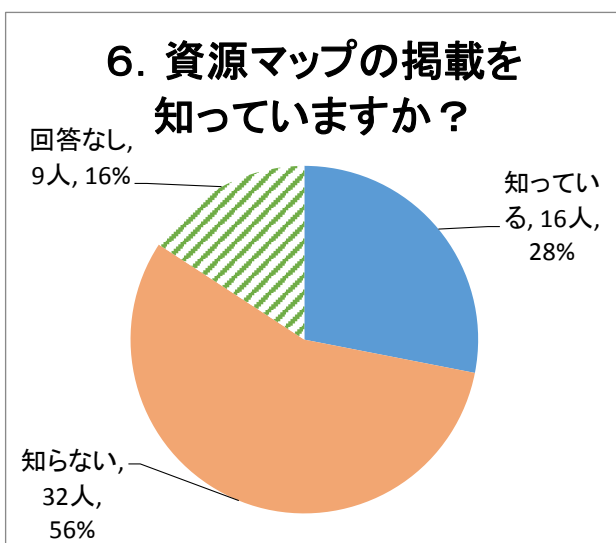
- ・患者の家族の意思をしっかりと聞き取っておくこと。
- ・医療機関連携室との密な連絡調整、訪問看護事業所との連携
- ・口腔ケアの方面でも在宅医療に関わられたらと思う。
- ・顔の見える関係を築くことが重要だと思います。(他1件)
- ・他事業所と快く相談をしながら仕事ができればと思います。
- ・認知症をもっと多くの人に理解してもらえようになりたい。
- ・もう少し他の職種を知らなければいけない。
- ・訪問看護の認知度が低い
- ・在宅とデイでの移動方法等の違い
- ・限られた時間の中での対応となってしまう為、思うような取り組みが行えないことも多い。
- ・本人、家族の希望を100%叶えるのは現実的に無理なことが多い。患者さんたちにも妥協してもらいたいけど難しい。
- ・認知症がない方とある方が同利用していると認知症がない方が認知症がある方への言葉遣い等が攻撃的で対応に困る。
- ・家族との関わり方が難しい。気持ちを汲み取るのに時間がかかる。
- ・家族内での関係、トラブル等に対してリハビリが取り組める考え方や取り組みはないか。

5. 在宅医療・介護推進のための具体的な要望

- | | |
|------------------|----------------------|
| 【住民向け講演会】 | 【医療・介護職への研修会】 |
| ・公民館ごとの制度の説明 | ・各地域で行ってほしい |
| ・介護サービスについて | ・地域の課題についてグループトーク |
| ・在宅について | |

7. 資源マップに追加してほしい内容

- ・レスパイト入院受け入れ可能な病院



考察・その他

- ・長島町での開催は初めてであったが、医師の参加が多かった事で(再広報した)参加者が増えた。
- ・参加者の当日の欠席は5名。班員の当日欠席者3名(事前に連絡が無く役割分担を急遽変更した)
- ・参加のきっかけや動機が上司や同僚からの声掛けや勧めによって参加されたが、その結果良かったとの意見が多数聞かれた。
- ・地元での開催で長島町からの参加が68%と多いが、阿久根市25%、出水市4%と多職種研修の関心の高さが伺えた。
- ・阿久根市の研修結果を踏まえて改善した点3点(事例2共に全員へ配布、班員をグループ司会補助として初めから参加、グループワーク時間を20分×3)阿久根市は、25分・20分・15分までまとめ時間の不足という意見があった為。
- ・役場の参加の方々が率先して(駐車場の案内や準備、片づけ等)手伝って下さりスムーズな運営ができた。